

徳之島コーヒーのはじまりは、今から42年前。

「島を代表する産業にしたい」と、ひとりの生産者が
コーヒーの苗を植えました。

1980

1982年 吉玉さん
コーヒーの苗を植える

1986年 初めての開花・結実



2000

2000年 生産者組合設立

2009年 伊仙町がコーヒー生産支援を開始



2010

2011年 徳之島コーヒー生産者会設立

2012年 生産者へ苗の提供、植付

2015年 台風で生産者会の苗がほぼ全滅

2017年 徳之島コーヒー生産支援プロジェクト発足

2018年 第1実証農場がオープン 100本の苗木を植える
台風24号による被害
生産支援プロジェクトによる復旧サポート

2019年 生産者の共用施設 通称「パルパー小屋」が完成
徳之島高校生徒による育苗スタート

2020

2020年 第1実証農場で初の収穫
第2実証農場オープン 500本の苗木を植える

2023年 平張りハウス完成
コロンビアから農業技師が来島 技術指導をおこなう

徳之島コーヒー生産支援プロジェクトについて

コーヒー農家と町役場、そして商社と飲料メーカーが力を合わせて取り組んでいるプロジェクト。徳之島がコーヒーアイランドになることを目指しています。

- ・徳之島コーヒー生産者会：実証農場や個人の農場でコーヒーを生産
- ・伊仙町役場：生産者会と丸紅(株)、味の素AGF(株)の橋渡し、地元自治体としてのPR活動
- ・丸紅(株)：種の提供、世界の産地の技術情報提供
- ・味の素AGF(株)：防風支援対策、肥料の提供、設備支給、苗木支援、商品化に向けた研究開発



徳之島コーヒーの父 吉玉誠一さん(2023年没)

徳之島で最初にコーヒー栽培を始めた「徳之島コーヒーの父」。徳之島を国産コーヒーの生産地に、島の基幹産業に、と生産者会を牽引した。世界を見据えた吉玉さんの「徳之島コーヒーが世界のコーヒーと肩を並べる時代が来るのか」の問いかけに答えられる日は近いのか。吉玉さんのコーヒー農場は奥様の道子さんが引継ぎ、伊仙町犬田布岬「珈琲スマイル」にて徳之島コーヒーの提供を行っている。



吉玉道子さん

2代目徳之島コーヒー生産者会会長 泉延吉さん

定年を機に東京から島に戻り農業を始める。「さとうきびより面白そう」と今ではコーヒー栽培ひとすじに。ご自身の農場の他に、第1実証農場も管理。一人で1日に出来る作業には限界もあり、作業効率化に奮闘中。



徳之島コーヒーのナイチンゲール 時任かおりさん

2023年、35年ぶりに島にUターン。何気なく参加したコーヒー収穫体験でコーヒー栽培に興味を持ち、お父様から引き継いだ畑でのコーヒー栽培を決意。農業素人の時任さんを生産者会の先輩方が強力サポート。昨年来島したコロンビアの農業技師シアボッシュさんから、「よくできている」と褒められて、ますますやる気に。

徳之島コーヒーが抱えている問題

- ・防風対策・土壌の改善
- ・加工処理設備の不足・後継者問題など

2024 2月 コーヒーチェリー収穫祭
5月 平張りハウスに460本の苗植付け

10月 徳之島コーヒー発売!



徳之島コーヒー(ブレンド)について

徳之島では様々な品種を栽培し、気候・風土に合った種を模索しています。そんな徳之島コーヒーを安定した風味に仕上げるため、今回のドリップコーヒーは徳之島産コーヒー豆を30%以上使用したブレンドで仕上げています。



徳之島をコーヒーアイランドに

徳之島は、希少な国産コーヒー豆の生産地。温暖多雨な気候が栽培に適していますが、台風が多く、風に弱いコーヒーの木を育てるのは容易ではありませんでした。

それでも私たちは、多くの人々の支援と知恵を借りながら畑を守り続け、2024年秋、ついに初の製品化にたどり着くことができました。

自然と共に持続可能な農業を実現し、島の大地が育んだ徳之島コーヒーは、私たちの挑戦と情熱の結晶です。世界のコーヒーと肩を並べるまで時間はかかるかもしれませんが、この味わいを未来へつなぎ、徳之島をコーヒーアイランドにしていきます。

私たちの想いがつまった一杯を、ぜひお楽しみください。



あなたも 徳之島コーヒー生産者に

徳之島コーヒー生産者会では、

徳之島コーヒーの生産にチャレンジしてみたい方を募集しています。

農業素人でも大丈夫！生産者会がサポートします。

お気軽にお問い合わせください。

徳之島コーヒー生産者会
0997-86-3116(伊仙町役場経済課)

リーフレット制作協力  とくの



徳之島コーヒー®
tokunoshima coffee Project

